

# 京都SDGsパートナー登録証



株式会社NITACOは、  
SDGs、CO<sub>2</sub>ゼロに  
取り組むことを宣言します。

## ●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

私たちは、「人の価値を最大化する。」をモットーに、性別や人種にとらわれず、あらゆる人がやりがいを感じながら働くことができる社会を目指しています。「IT」と「BPO」を最大限活用することで、建設業界の労働力不足を解決する一助となるように、一人ひとりの長所を生かした、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## ●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】私たちは、建設業界における労働時間や情報の非対称性を解消し、非生産業務の解決を目的に、弊社ソリューションの利用者を対象に建設業におけるプラットフォームの構築を行います。建設業界全体のイノベーションを加速させ、人手不足の解消や生産性を高めることで、経済的に安定した社会の実現に貢献します。

【社会】あらゆる人が差別されることなく働けるよう、性別や年齢に関係なく採用を進め、子育て中や病気の方でも働きやすいようフルリモート・フルフレックス体制も設けています。また、定期ミーティングでのナレッジ共有や研修等の学習機会を提供し、学び続けられる環境も整えており、誰もが働き続けられる社会の実現に貢献します。

【環境】私たちは、仕事上での連絡手段やデータの共有について、Googleの各種ツール、slack、マネーフォワードなど、原則オンライン上のシステムを利用し、社内のペーパーレス化に努め、森林保全やCO<sub>2</sub>の削減に繋がっています。また、リモートワークやオンライン会議を推進し、移動等にかかるCO<sub>2</sub>の削減にも貢献しています。

## ●文化や地域活動に関する重点的な取組●

私たちは、北海道北見市に子会社の福祉施設をつくり、障害を抱える方に就労と生産活動、訓練の機会の提供を行うことで、地域での雇用機会の創出や社会的支援に貢献します。また、様々な自治体に対して、主に治水事業や公共施設の整備などの分野において、ふるさと納税をするなど、寄附を通して地域の活動を応援しています。

※記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00455

株式会社NITACO

登録期間 2024年12月13日 ~ 2026年12月12日



京都超SDGs  
コンソーシアム



京都市  
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の一つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

